

① いちのみや

# 議会だより



第166号  
2018.2

町のホームページで議会だよりや議会の  
会議録等を見ることができます。  
<http://www.town.ichinomiya.chiba.jp>

一宮議会だより

検索

新成人 おめでとう！

- 平成28年度決算を承認 …… (2)
- 決算審査特別委員会報告 …… (3)
- 決算認定討論 …… (4)
- 12月定例議会で決まったこと … (5)~(7)
- 一般質問8名の議員より …… (8)~(15)
- 視察研修報告・編集後記 …… (16)



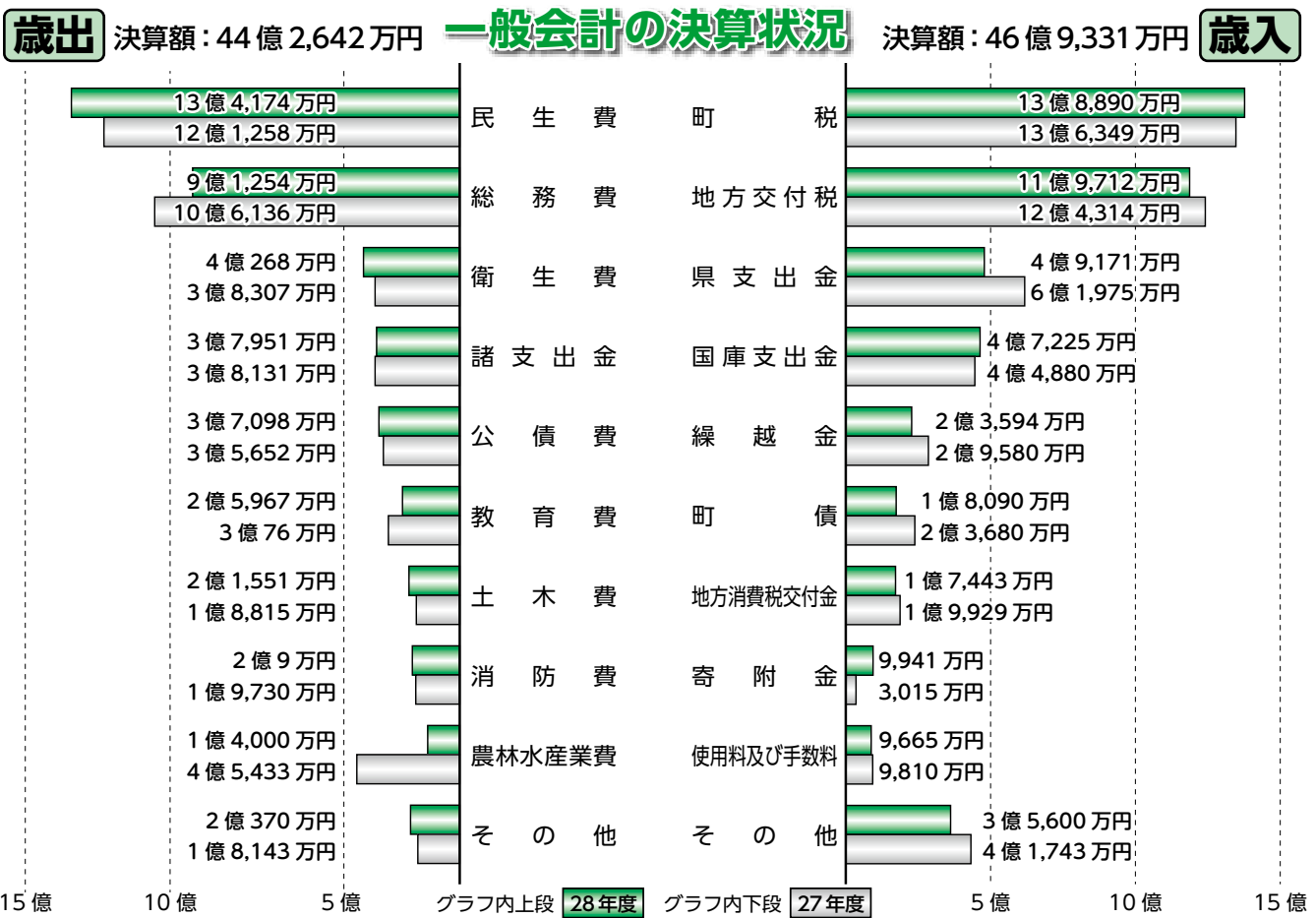
平成29年第4回一宮町定例議会は、12月6日に開催され、町長の行政報告をはじめ、閉会中の継続審査となっていた平成28年度各会計の決算審査の報告や8名の議員による一般質問が行われました。

議案では、専決処分の承認2件、条例の制定2件、条例の一部改正2件、同意案1件、一般会計他1特別会計補正予算が原案どおり可決しました。

また、議員発議により「一宮町議会議員定数調査特別委員会」を設置しました。

## 平成28年度決算を承認

一宮どろんこ保育園施設整備事業補助金2億1,106万円や町道の新設改良事業7,405万円、海岸駐車場舗装事業1,598万円など、平成28年度の決算が承認されました。



## 各会計の決算状況

各会計の決算額 (単位：円)

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	4,693,312,570	4,426,423,570	266,889,000
国民健康保険事業特別会計	1,825,176,234	1,768,853,324	56,322,910
介護保険特別会計	1,044,147,047	1,014,453,511	29,693,536
後期高齢者医療特別会計	133,377,780	133,299,680	78,100
農業集落排水事業特別会計	102,225,542	100,154,937	2,070,605
合計	7,798,239,173	7,443,185,022	355,054,151

決算審査  
特別委員会報告

決算審査特別委員会 報告

(平成29年11月13日～14日開催)

平成28年度の予算執行が適正に行われたか審査を行い、一般会計ほか全ての特別会計について、認定すべきものと決しました。

審査で出された  
質疑・回答

※質疑・回答は紙面の都合により、一部のみの掲載です。

《一般会計》

【総務課】

**問** 町例規集データ化委託の更新頻度は。また、コストダウンは可能か。

**答** 頻度は、条例等83件の更新である。  
コストダウンは、現在定額契約だが、件数割にした

更新である。  
コストダウンは、現在定額契約だが、件数割にした

決算審査特別委員会委員

委員長 島崎保幸

副委員長 鵜野澤一夫

委員 森田佐衛

藤乗一由

小林正満

場合は、更新頻度から割高となる。また、以前の冊子と比較した場合も現在の電子化の方が安価である。

【オリンピック推進課】

**問** オリンピックの機運醸成は、ポスターやフラッグの掲示だけでなく、小中学校を通じ子どもから親にも伝わるよう広報すべきと思うが、今後はどう進めるか。

**答** 来年度は2年前イベントを県と共催で盛大に行いたい。また、町内の様々なイベントにオリンピックブースを設け、広報する予定である。

小中学校及び高校はオリ

ンピック教育推進校の指定を受けており、各学校でオリンピック教育に関する予算があるので、協力して事業を進める。

【企画課】

**問** 町民提案事業は、平成28年度で終了せず、なぜ29年度まで継続したのか。

**答** 28年度に廃止を決定したが、要綱に3年間事業を継続可能とあり、2団体の継続事業が残る1年あったので、今年度まで継続したものである。

【福祉健康課】

**問** 公立保育所の工事は緊急のものか。また、今後の工事計画は。

**答** 老朽化に伴う改修工事、当初の計画3件と設備点検の際、不具合が指摘された緊急工事1件である。  
今後の計画は、いちのみや保育所が定員超過のため、前倒しでの増設も視野に今後の整備について検討したい。

【産業観光課】

**問** 農業経営体育成補助金の内容は。

**答** 「人・農地プラン」に位置づけられた担い手が金融機関からの融資を活用して農業用機械等を取得する

場合に補助対象事業費の3割を補助するものである。

【都市環境課】

**問** 町営住宅の今後の方向性は。

**答** 老朽化が著しい町営住宅は、地権者から早期の返還要望があり、廃止する方向で考えている。  
ただし、大村住宅は、町有地にあるため、希望者を受け入れている。

【教育課】

**問** シルバー人材センター委託費（公民館・臨海運動



現場踏査(ため池改修箇所)

公園・GSSセンター)の決算は、町でどのように審査しているのか。

**答** 各施設の委託費は、仕様書・年間管理スケジュール・管理執行状況を、毎月はじめに業務日誌と一緒に提出させており、年度末に実績で精算している。

《国民健康保険事業特別会計》

**問** 医療費の増減は、世帯数・被保険者数の減る割合とあまり連動していないが理由は。

**答** 医療費は、診療報酬の改定等もあるが、現在、世帯数や被保険者数は減っているにも関わらずトータルで増えている。主な理由は、医療費の高額化と高額療養費の増加である。

《介護保険特別会計》

**問** 高額医療合算介護サービス等費が27年度に比べると少ないがその理由は。

**答** 医療と合算による支給であり、後期高齢者医療分の給付請求が遅れたことにより、29年度に繰り越されたものである。

# 決算認定 討論

《一般会計》

**反対** 国保に法定外繰り入れを

焔場博敏議員

子育て支援に厚い予算執行となつている点は評価すべきだが、町の42・6%の世帯、人口でも31・2%が加入している国民健康保険を社会保障の観点から見る姿勢が弱い。



決算審議中(特別委員会)

消費税引き上げで増えた

地方消費税交付金は社会保障経費に充てるよう指導があるにも関わらず、国保への法定外繰り入れはない。これは改めるべきであり、次期予算に反映させなければならぬ点として強く改善を求める。

**賛成** 住民ニーズに配慮され評価できる

志田延子議員

歳入では、国・県補助金、各種基金の有効活用など財源補填が図られている。歳出では、一宮どろんこ保育園施設整備補助、海岸北側駐車場の舗装整備など町民からの好評事業は継続しつつ、町の発展に向けた意欲的な姿勢がうかがえ、住民ニーズに十分配慮されたものと判断する。

《国民健康保険事業特別会計》

**反対** 保険税の引き下げを求める

焔場博敏議員

国保の平均所得世帯モデルに、同じ人員の生活保護世帯と生活費の比較を試算すると、逆転状態が生まれており、一刻も早く解消すべきである。

また、1人当たりの所得に対する保険料の割合(国保9.9%、協会けんぽ7.6%、共済組合5.5%)も高く、あらゆる手法を駆使し、保険税の引き下げを求める。

**賛成** 医療費の削減に努めるなど適正な運営

鶴沢一男議員

健全な運営を行うため、国保税の収納率向上に努め、特定健診や特定保健指導など病気の早期発見と予防にも努力し、医療費の削減を図っている。しかし依然として医療費は緩やかな上昇傾向を続けており、財政運営は大変厳しい状況である。こうした中、保険税を上げることなく運営されていることは、評価できる。

《介護保険特別会計》

**反対** 国へ制度改善を強く要望すべき

渡邊美枝子議員

要支援1・2の保険給付が地域支援事業に移行されるなど、制度からの締め出しは納得できない。

町の介護予防事業など努力は評価する。しかし町は国に対し、国庫負担を増やし、利用料の軽減、介護労働者の処遇改善など行えるよう制度改善を強く要望すべきである。

**賛成** 介護給付費抑制の取り組みを高く評価

藤井 幸恵議員

町では、在宅での閉じこもり予防のため出張介護予防教室の充実を図るなど、積極的な施策を実施したことに、65才以上の高齢者が増えているにも関わらず、介護認定者数の減少に結びついている。こうした介護給付費抑制の取り組みは、高く評価できるものであり、適正に運営された結果と判断する。

《後期高齢者医療特別会計》

**反対** はり・きゆう等への助成も実施されたい

焔場博敏議員

市町村が行う保健事業も人間ドッグ事業は一定認知されてきたが、歯科健康診査事業等もつと周知すべきである。はり・きゆう等への助成も実施を求める。実施した費用は、保険料に跳ね返らないよう県へ補助金要請も行うべきである。

広域連合への要請も含めて改善を求める。

**賛成** 安心して医療を受けられるよう配慮

袴田 忍議員

近年、後期高齢者医療の加入者数は年々増加し、それに伴い医療費も増加して来ている。このため、持続可能な社会保障制度の確立に向けて、必要な改善が図られている。広域連合と連携し、可能な限り保険料の増加を抑制することで誰もが安心して医療を受けられるよう配慮されたものであり、適正なものと考えられる。



町PRポスター

# 平成28年度決算要望

1. 全ての会計において、収入未済額がある。一部の項目では、毎年収入未済額が減少するなど担当者の努力がうかがえるが、農業集落排水処理施設使用料、後期高齢者医療保険料、町営住宅使用料の収入未済額は、過去5年間を見ても毎年増加の一途である。  
負担の公平性を確保する上からも収入未済額の解消は重要であり、納入者の生活実態等を十分配慮した上で、収入未済額の解消に努められるよう要望する。
2. 町道1-7号線は、町の重要な幹線道路である。  
2020東京オリンピックを控えた中で、全線の拡幅完了は用地買収や町の財政状況から大変難しいと思われるが、早期の完成を要望する。

## 定例議会で決まったこと

### 平成29年度 補正予算の概要

今回の一般会計補正予算では、駅前観光施設外構工事、障害児通所施設の利用者増加による給付費、道路補修工事17箇所などが追加され、原案のとおり可決しました。

各補正予算の主な内容は、次のとおりです。

※概算単位：万円（千円以下四捨五入）

会計	補正額	補正後 予算総額	補正の主な内容
一般会計補正予算 (第5次) 専決処分	612 万円	479741 万円	・衆議院議員選挙費 (衆議院議員選挙に係る経費) 612 万円
一般会計補正予算 (第6次) 専決処分	200	479942	・災害対応費 (台風21号、22号の対応に要した経費) 200
一般会計補正予算 (第7次)	4031	483973	・まちづくり推進事業 (駅前観光施設外構工事) 324 ・ふるさと応援事業 (寄付金増による謝礼ほか) 493 ・防災行政無線管理運営事業 (個別受信機) 158 ・身体障害者更生医療給付費 124 ・障害児支援事業(利用者増分) 773 ・千葉県保育士処遇改善事業補助金 552 ・町道維持補修工事 1570
介護保険 特別会計補正予算 (第3次)	160	104195	・介護保険システム改修委託料 28 ・居宅介護住宅改修費給付事業 76 ・介護予防事業(カレンダー印刷) 37

**督促手数料の廃止による  
関係条例の整備**

(議案第1号)

町税及び公課の督促手数料の廃止について徴収管理事務の見直しや金融機関窓口の対応事務軽減を図ることを目的に、関係する条例を整備しました。

**観光拠点施設の設置及び  
管理条例を定める**

(議案第2号)

観光の拠点として、平成30年度から開設する一宮町観光拠点施設の設置及び管理に關し定める条例です。

**手数料徴収条例の  
一部を改正する条例の制定**

(議案第3号)

税務課で扱う手数料が近隣市町村と比べ安価であることや、郵送で依頼の場合は定額小為替で納付される場合の最低単位が50円であることから改正を行いました。

また、租税特別法の改正により、所要の規定を整備しました。

**公の施設に係る指定管理者制度  
導入に関する条例の一部改正**

(議案第4号)

指定管理者制度を導入して成功を収めている先進地に倣い、必要な条文を追加する改正を行いました。

議案審議賛否一覽

議案名	議員名	結果	議員名																			
			議決結果	賛成	反対	藤井幸恵	小林正満	渡邊美枝子	鶴沢清永	鶴沢一男	小安博之	藤乘一由	袴田忍	鶴野澤一夫	志田延子	島崎保幸	秦重悦	森佐衛	森博敏	藤井敏憲	吉野繁徳	
承認第1号	平成29年度一宮町一般会計補正予算(第5次)の専決処分につき承認を求めることについて	原案承認	15	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第2号	平成29年度一宮町一般会計補正予算(第6次)の専決処分につき承認を求めることについて	原案承認	15	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第1号	平成28年度一宮町一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	13	2		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第2号	平成28年度一宮町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	13	2		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第3号	平成28年度一宮町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	13	2		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第4号	平成28年度一宮町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	13	2		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第5号	平成28年度一宮町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	15	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第1号	督促手数料を廃止するための関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	15	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第2号	一宮町観光拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決	15	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第3号	一宮町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	15	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第4号	一宮町公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	15	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第5号	平成29年度一宮町一般会計補正予算(第7次)議定について	原案可決	15	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第6号	平成29年度一宮町介護保険特別会計補正予算(第3次)議定について	原案可決	15	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意案第1号	一宮町固定資産評価審査委員の選任につき同意を求めることについて	原案可決	15	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第1号	一宮町議会議員定数調査特別委員会設置に関する決議について	原案可決	8	7		×	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	×	○	-

※ ○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、議長は、採決に加わらないため「-」で表示  
空欄…無記名投票による採決のため採決結果のみ

**議員定数調査特別委員会を設置**

(発議第1号)

近年、地方自治体議会の多くは、財政面を含めた議会改革の一環として、議員定数の削減を進めているが、当議会では、平成18年に定数16名に改訂して以来、見直しの検討がなされていない状況です。

町の将来的な財政運営、今後目指すべき議会の在り方を含め、効率的で住民のニーズにあった形での議員定数の検討が必要と判断し、「一宮町議会議員定数調査特別委員会」を設置するものです。

**特別委員会 委員**

委員長	森 佐衛
副委員長	森 一夫
委員	志 延 子 敏 志 延 子 敏 志 延 子 敏 志 延 子 敏
委員	志 延 子 敏 志 延 子 敏 志 延 子 敏 志 延 子 敏
委員	志 延 子 敏 志 延 子 敏 志 延 子 敏 志 延 子 敏

**設置期間**

閉会中の継続審査とし、期間は議員の任期中です。

**討論**

**反対 平成30年の選挙以降に立ち上げるべき**

袴田 忍 議員

なぜ、今の時期に特別委員会を設置するのか。平成30年には議員の選挙があり、新人への牽制と見られるのではないか。定数調査イコール定数削減の意味になってしまうのではないか。我々の仕事は町民の声の反映です。議員の数が減れば、少数の民意が拾えなくなる。これで良いのか疑問である。

2020年にはオリンピックも開催され、議員の役割も増えることと思うので、今ではなく、平成30年の選挙以降に立ち上げるべきであると考え、私は反対する。

**反対 時間的に足りず、住民の参政権を狭める**

畑場博敏 議員

この委員会設置は時期尚早と判断する。質疑でも提案者は、定数ではなく、議会の在り方について議論をしたいとのことであるから、これは一度取り下げて、新たに「議員の在り方を考える調査特別委員会」を設置して、活発な議論をすることが望ましいと考え

る。定数を見直すのであれば、時間的に足りないと同時に、住民の参政権を狭めてしまうことになるので、反対する。

**賛成 他の自治体状況を知り、検討すべき**

鵜沢一男 議員

議会議員の定員数問題は、国会では各選挙区の人口増減により、その数を見直している。また、県議会においても国会と同じく人口減少の選挙区は定数を減じ、人口増加の選挙区は定数増を近く実施する。

当町は人口の増減は少ない状況ではあるが、全国的また県内のにも他の自治体の状況を知り、本議会の定数を検討するべきと考え賛成する。

**同意**

固定資産評価委員に次の方が同意されました。

勝 又 泰 雄さん (新浜区)

**あなたも  
議会を傍聴  
しませんか！**

次回の定例議会は  
3月6日(火)  
午前9時からの予定です

# 五輪会場施設は どうなるのか

## 答 多目的施設の設計に入る



鵜沢清永 議員



**問** オリンピックまで1000日を切り、会場整備の中身がまだ明確ではないことに不安に思っている方が多い。そこで以下について町長に伺う。

① いすみ市ではオリンピック観光課が10人態勢で活動しているが、町は3人の職員で業務をこなせるのか。

② 会場の恒久施設はどうなるのか。

③ 開催に向けた準備の状況は。

**町長** ① オリンピック推進課は3人のスタッフで進めてきたが、来年度以降は、業務の増加が想定されるため、適正な人員配置を図りたい。

**オリンピック推進課長**

② 会場の釣ヶ崎海岸南側に隣接する1haは、千葉県が保安林を解除し自然公園として整備する。

この自然公園内に恒久施設として、自然公園利用者、海岸利用者が幅広く使える多目的なスペース、トイレ、更衣室等を備えた施設を建設する。

9月議会での補正予算で承認された、設計建築確認申請業務委託契約を11月7日に締結、これから本格的な設計に入る。

③ 現在、組織委員会では、仮設での会場整備について大詰め段階である。また、輸送・ボランティア等の検討も進行中である。サーフィン競技自体に関しては、組織委員会と競技団体との間で調整・検討が進んでいる。

### 【議長・議員が出席した主な行事】（平成29年10月～12月）

10月		11月		12月	
2日	長生郡市消防本部長生分署落成式	3日	第39回一宮町農林商工祭		議会運営委員会
4日	議会報編集委員会	5日	文化祭	1日	議員全体会議
6日	長生郡町村議会議員及び事務局職員合同研修会	8日	後期高齢者広域連合定例会		議会報編集委員会
8日	第3回一宮町ボランティア福祉フェスティバル	13～14日	決算審査特別委員会	5日	長生郡市負担金審議特別委員会
	いちのみや保育所運動会	15日	七歳児合同祝い	6日	第4回定例議会
14日	長生郡市障害者スポーツ大会	17日	千葉県町村議会議長会議長・副議長研修会	12日	議会報編集委員会
16～18日	議会議員視察研修（東京都稲城市、長野県白馬村、山梨県笛吹市）	20日	地方自治法施行70周年記念式典	14日	農業振興地域整備促進協議会
20日	例月出納検査	21日	例月出納検査	18日	長生郡町村議会議長会議臨時会
23日	後期高齢者広域連合全員協議会	22～23日	議長全国大会	20日	例月出納検査
26日	一宮小学校秋季大運動会	23日	長生郡町村議会議長視察研修	24日	九十九里有料道路開通式
27日	長生郡市議員会		長生郡町村議会議長会議臨時会		
29日	芸能と音楽を楽しむ会	25日	災害ボランティアセンター立ち上げ訓練		
	一宮尚武会創立50周年記念式典	27日	広域議会定例会		
			一宮学園開園90周年記念式典		



志田延子  
議員

## 駅にコインロッカー設置を

### 答 観光案内所に設置を検討

**問** 一宮駅利用者からロッカー設置の要望があった。2020年に向けて観光客も増加するだろうが、町の対応を伺う。

**産業観光課長** JRでは駅舎内に設置場所がなく、管理・保管も難しいため、ロッカー設置は考えていない。

オリンピックに向けて多くの観光客の来訪を見込み、新設の観光案内所にコインロッカーの設置を検討する。

## 民間の文化財の保存活用を

### 答 保管場所の拡充、展示を検討

**問** 町内には、個人所有の文化財等が多いと考えられ、これらの保存・活用は町の施設で行われることが望まれる。町長の考えを伺う。

**町長** 町内には多くの文化財が所在し、個人所有のものも多いと聞く。町はそれらを把握しておらず眠って

いる文化財も多い。

資料館等がないため、教育委員会の資料等も公民館でのミニ展示やパネル展示で公開し普及に努めている。

今後、保管場所の拡充や講座等開催など検討し広く周知する努力をしていく。



建設中の駅前観光案内所

## 一宮川共有地の用地買収状況は

### 答 土地収用制度の活用も検討

**問** 一宮川の改修は終了しているわけではない。特に一部、宮原共有地の用地買収が進んでいない事も不安の一因となっている。その後の進捗を伺う。

**都市環境課長** 宮原共有地の用地買収状況は、現行制

度上すべての相続人の持分を事業者である県が取得しなければ、原則工事に着手することができない。

県は、引き続き持分の取得を進めているが、併せて土地収用制度の活用も検討し、国と事前協議を行っている。



宮原共有地

# オリンピックPRの 取り組みは

**答** 多くのメディアを活用



袴田 忍 議員



街路灯に取り付けられた  
オリンピックフラッグ

**問** オリンピックまで2年8ヶ月だが、町内外へのアピール度はまだまだ低い。そこで次の点を伺う。

① 一宮駅とその周辺への宣伝はどうするのか。

② 釣ヶ崎オリンピック会場でのPRはどうするのか。

③ オリンピック会場内のボランティアへの説明会などはどのようにするのか。

開催イベントやビーチクルージング等を行う。イベント開催時に多くのメディアを活用してPRする。

③ 開催時の会場内ボランティアは、大会組織委員会が募集、選考、運営を行う。

大会の会場外である一宮駅や会場周辺でのボランティアは、千葉県が募集し町が選考運営に係わる。

どちらのボランティアに關しても大会組織委員会や千葉県からさまざまな媒体で説明されるが、町も広報等でお知らせする。

**オリンピック推進課長**

① 新設される観光案内所や駅前の電光掲示板等も有効活用できるよう検討する。

② 来年度も県と協力し、

# 障害の方への支援策は

**答** 福祉計画の策定を準備

**問** 千葉県は平成30年からの3年間に、障害者施策について、新規の計画作りを進めている。

町は県と同様に※ノーマライゼーションに基づいた障害者施策についての考えがあるか伺う。

**福祉健康課長** 町でも、平成30年度から32年度までを計画年度とした「第五期障害者福祉計画及び第一期障害児福祉計画」の策定に向けた準備を進めている。

12月に「第1回一宮町障害者施策推進協議会」を開催予定であり、パブリックコメントについても1月頃に公表を予定している。

## ※ノーマライゼーションとは

障害者や高齢者が、ほかの人々と等しく生きる社会・福祉環境整備の実現を目指すこと。

また、障害者が自己を確立し社会的価値のある役割をつくりだし、それを維持できるよう援助することも大切であるという福祉の基本理念。



一般質問

鵜野澤一夫議員



# オリンピックの医療体制は

## 答 組織委員会が行う

**問** オリンピックサーフィンの競技開催時での様々な事故、あるいは選手・役員・観客の体調不良などが想定され、医療体制の整備は必要不可欠である。対策を検討し、関係機関に協力を仰ぐ必要がある。

組織委員会の考えと、医師会への協力依頼などの進捗状況を伺う。

**答** オリンピック推進課長

医療体制の整備は組織委員会が行う。現在組織委員会で競技会場内の医療体制、救急搬送する病院の選定、救急車の配備等の検討が進められており、関係する医師会、消防機関等の協議も始まっている。

町は今後も、組織委員会、医師会等と連絡調整を行う。

# 介護報酬の引き上げすべき

## 答 国・県へ要望

**問** ① 当町に特別養護老人ホームが新設されるが、これにより介護保険料の改定があるのか伺う。

② 昨年度特養の収支状況は全国で33・8%が赤字施設であり、介護報酬の増がなければ、サービスの質の向上、従事者への処遇改善が継続出来ず、地域が崩壊しかねない。介護報酬のアップを国に要望すべきと思うが、町長の考えを伺う。

**答** 福祉健康課長 ① 新設の特養は、60床で入居申込受付中。介護職員は、20名が基準人員である。

介護保険料の改定は、3年ごとであり、計画期間ごとにサービス費用見込額等に基き決定する。

29年度は第7期事業計画の策定年度で、平成30年度から32年度までの介護保険料基準額を示し条例改正する。

昨今の人材不足で職員の確保が厳しいが、高齢化社会での増大する介護ニーズへの対応や質の高い介護サービスの確保するため、資質向上の取組を推進し、平成29年度に介護職員処遇改善加算が改定された。

11月に関係団体から提出された介護報酬の引き上げ



平成30年3月オープン予定の特別養護老人ホーム

町でも、報酬単価の引き上げと、国や県の負担増を要望する。

要望を受け、国は消費税財源を含めた介護報酬改定に前向きに検討するとしている。

畑場博敏 議員



## 地元農業を守れ

### 答 国に要請活動する

**問** 10月に台風21号、22号が相次ぎ、強風と塩害の二重の被害となった。被害状況と救済策について伺う。

次に農作物輸入自由化を含む農政の動きに対しての町長の認識を伺う。

今年の日米首脳会談等でTPP以上の日米FTA（自由貿易協定）が合意さ

れた可能性が強い。欧米は、農作物に対して生産費補償の対策を取っているが日本にはない。町は、地元農業を守る立場から、政府に対して強い要請活動をするべきだがどうか。

**産業観光課長** 台風では農業用施設のガラス破損、ビ

## 国保税減税は急務

### 答 法定外繰入れは難しい

**問** 新年度から国保制度が変わるが、国保の抱える構造的問題の改善は期待できない。

国保世帯の平均所得は138万円と低い。

国保の1人当りの所得に対する保険税の割合は9.9%、協会健保が7%、共済組合で5.5%と町民の社会保障の観点からも税の引き下げは急務だ。

18才未満の子どもに係る均等割額をなくし減税することも求めるが見解を伺う。

**町長** 国保世帯の担税状況は大変深刻なことと思う。

18歳未満の子どもに係る減税は全額減税で、概算2000万円、同様に5割では1000万円、3割で600万円必要になる。

新年度から県広域化となっても地方消費税交付金から充当することは、法定外繰入れとなり難しい。

県の国保運営協議会の最新試算で発表された新年度保険税は、28年度理論値と比べると低い変動要素も大きい。税額決定は6月頃になる。

二ールの破れ、換気扇の故障など20件の被害があった。露地野菜で生育障害、倒伏、葉枯れが見られた。救済策は再生産に必要な資金として、県は農業災害対策資金を検討している。

**町長** 国は強い農業づくりを目指すとしている。農業を維持発展させるには、生産補償対策も重要であり、補助充実も必要だと思っている。要請活動はしていきたい。

## 新指導要領への準備は万全か

### 答 無理ない移行を準備

**問** 昨年度末に小中学校の新学習指導要領が決められた。

新年度からは移行期間が始まり3年後、小学校から新指導要領での授業となる。学習指導方法も「主体的・対話的で深い学びの実現」が求められる。英語が教科として5年・6年生で始まる。時間の確保や教える先生の負担など準備は万全か伺う。また、中学校保健体育の「武道」に「銃剣道」が加わり、平和憲法下のスポーツ教育とは言いがたいと思うが見解を伺う。

**教育長** 新学習指導要領は資質・能力の育成を指したものであり、授業改善の視点である。全く新しい方法というわけではなく、これまで行われてきた教育手法であり、教職員に新たな負担を強いるものではない。

小学校5・6年生の英語の教科化は、新年度より町では先行実施していく。週の日課表に1時間組み込むが、先行実施期間中は教科の評定はしない。教員研修も順次行い、指導力向上に努力していく。中学校の武道はこれまでどおり「柔道」を選択予定である。

一般質問

鵜沢 一男 議員



学童保育の改善を

答 児童数の動向を勘案して

**問** 児童の安全・安心などを考慮し、『学童保育わんぱくクラブ』の充実と改善が必要と考える。

一宮小学校の学童保育は現在3箇所で開催されている。(第1・第2は校内施設、分室は近隣の民間施設で運営)これを集約し1箇所で開催すべきである。

また、一宮学童保育、東浪見学童保育は専用の施設とすべきで、施設の都合で児童に不自由な思いをさせてはならない。

さらに、学童保育の開設場所は、学校敷地内を基本とすべきである。

- そこで、次の点を問う。
- ① 平日及び夏休み等の利用状況と今後の見通しは。
  - ② 現況施設の状況は。
  - ③ 施設新設の考えはないのか。

**教育課長** ① 平成29年度10月の利用者は、一宮第1は37人、第2は9人、分室は7人、東浪見は31人である。

平成29年夏期休みの利用者、一宮学童保育第1は

31人、第2は22人、分室は15人、東浪見学童保育は31人である。

新年度の利用児童数は大きな変化はないと考えられる。

- ② 一宮第1は、94・4㎡、定員50人、第2は94・4㎡、定員50人、分室は49・5㎡、定員30人、東浪見は90・0㎡、定員40人、であり、全て国の基準を満たしている。

施設職員は、国の基準に沿っており、支援員7人と補助員8人、計15人の体制で運営している。

今後も適正な運営管理のために、支援員等の確保が重要な課題である。

- ③ 27年度の制度改正から4～6年生の児童も対象となり増加し、分室を設置して対応している。

本年の利用者増には、一宮小学校内の施設増設で対応し、待機児童はない。

理想的には、各小学校ごとに1箇所を集約すべきだが、少子化傾向であり、将来の児童数の動向を見ながら、環境整備を検討する。

神門踏切、北側にも歩道を

答 県とJRが協議に

**問** 上総一ノ宮駅に隣接する神門踏切は、多くの人が歩道のない北側を歩き、危険な状態である。駅東口開設町民アンケート調査の結果でも、多くの町民が踏切の危険性を指摘している。

北側にも歩道を設置すべきであり、役場と市街地を結ぶ幹線道路に位置する同踏切の安全対策を問う。

**都市環境課長** この踏切は、町の都市計画では閉鎖となっており、歩道を設置する場合は多額な工事の費用負担の問題もあり拡幅の明確な方針が示せなかった。

釣ヶ崎海岸がオリンピッククサーフイン会場となり、現在、県とJRの間で協議が行われているようである。歩道の設置に向け、町の都市計画変更など極力協力していく。



学童保育わんぱくクラブ

# 公共施設整備で 財政の見通しは

## 答 厳しい状況が予想される



藤乗一由議員

一宮中学校校舎・中央公民館の改修等の経費など

建築物	建築後	改修経費（仮）	総額	町負担額見込
一宮中学校 普通教南舎 校棟校舎 側校	47年	大規模改修	3億6千万円	総額のうち補助対象部分 は約52%、補助対象とな らない部分は全額町負担
		長寿命化改修	9億円	総額のうち補助対象部分 は約43%、補助対象とな らない部分は全額町負担
		改築（建替え）	14億円	国基準額の1/2補助を除 く残額
中央公民館	45年	大規模改修	2億3千万円	補助金等は無
		新設（同規模で改築）	5億9千万円	補助金等は無

**問** ① 一宮中学校校舎の大規模改修費は、約3億6000万円というが、施設の利用や寿命の検討は十分なのか。  
② 中央公民館の改修また改築はどうか。  
③ 「一宮町公共施設等総合管理計画」では、町公共施設等の改修により、町の収支が平均毎年6000万円不足するとなっている。

**問** 町の歳出のうち、一般会計の1/5以上を人件費が占め、今後の財政運営の重荷となる可能性もある。それにもかかわらず、職員の業務時間内に、県道の花壇の草取りや、トライアスロン大会の事務的業務、当日の運営の支援などもやらせている。営利目的の民間事業者の業務の肩代わり

## 職員には本来の業務を！ 答 有効な方法を模索

しかも、農業用のため池改修の経費などは含まれていない。  
現在、オリンピック関連以外に、駅東口開設も検討中だが、今後の町財政見通しに問題はないか。  
**教育長** ① この大規模改修は、現状復帰のような考え方であり、現在、文部科学省では、今ある建物を活かす、コストを抑えながら建替えと同等の教育環境が確保できる「※長寿命化改修」を推進している。どの

を役場職員が行うような形であり、無駄ではないか。また近年、外部委託業務がどんどん増加しているが、同時に職員数も増加し、その割には休日や時間外勤務の代休消化もそれ程度進んでいない状態である。業務内容の見直し、効率化が必要ではないか。

ような方法が最適なのか十分協議を重ねていきたい。  
**総務課長** ② 公民館の大規模改修は約2億3000万円。同規模新築の場合、約5億9000万円を想定し、補助金等はなく、自主財源か基金の取り崩しとなることから、将来、財政運営が厳しくなると予想される。  
**町長** ③ 町が財政困難に陥らないよう、最善の手立てを講じて進めていきたい。

### ※長寿命化改修とは

学校施設の老朽化対策を効率的・効果的に進めるための新しい改修方法で、従来のように築40年程度で建て替えるのではなく、コストを抑えながら建て替え同等の環境整備が可能。

**町長** 慣習的に職員が実施している業務で、不要なもの廃止、または外注等による改善で業務と人員の効率化を図るべきである。これについては、もちろん最小の経費で最大の効果が得られるように取り組んでいるつもりである。指摘の点は真摯に受け止め有効な方法を模索したい。  
**こんな質問もありました**  
「小中学校教育の今後の方向性は」

渡邊美枝子 議員



## 第7期介護保険料の試算状況は

### 【答】1月中に保険料案決定

**問** 介護保険料の月額基準額は高齢者にとつて5000円が限度といわれてきた。しかし第6期事業計画では5200円となり、これ以上は大変な負担である。

第7期事業計画で策定する平成30年度からの保険料の試算状況を伺う。

**福祉健康課長** 厚生労働省から示された地域包括ケア「見える化システム」では、29年度上半期分のデータが未だ反映できていないため、介護保険料基準額が示せない。

しかし、少しでも被保険者の負担が増えないように試算し、1月中には素案をもとに協議し、保険料案を決定する。

## 子ども医療費、窓口自己負担ゼロに

### 【答】現行の制度を維持

**問** 子ども医療費の助成対象年齢を引き上げると、外来治療で入院を減らす効果があるとされている。当町では高校生まで拡大していることは良いことである。

近隣の自治体では、窓口負担を課税世帯もゼロにしているところもある。当町でもできないものか。

無理であれば同じ疾患で数回の受診が必要の場合、初診の負担1回で済むようにできないか。

**町長** 対象児童が増加する中、医療費も年々増加している一方、財源は限られている。救急医療の適正利用や保護者が安心して子どもの医療を受け続けることができるためにも、引き続き保護者の方からは自己負担をいただきたい。

その中で、0歳から18歳までの息の長い支援を継続する。

## 後期高齢者医療に、はり・きゅう等助成を

### 【答】近隣の動向をみて検討

**問** 後期高齢者医療の長寿・健康増進事業として、はり・きゅう等への助成がある。

千葉県では30の自治体で実施しており、当町でも実施できないものか。

**住民課長** 現在、郡内で実施しているところはなく、来年度以降も予定はない。

実施市町村への確認によると、高齢者福祉事業として行っている。

しかし保険適用外の、はり・きゅう・あんまの件数は把握できていないため、今後、広域連合の助成の内容や近隣市町村の動向も含め実施の是非について検討したい。



介護保険事業計画書

長野オリンピックピック会場を視察

(長野県 白馬村)

- 今年度は、10月16日(月) 18日(水)の日程で、
- ①東京都稲城市・スケートボードパーク
  - ②長野県白馬村・長野冬季五輪会場
  - ③山梨県笛吹市・市役所表敬訪問

以上3箇所の視察に行きました。

当町の場合、政務活動費を受給していないため、議員視察にあたっては、議員報酬からの積立と、町からの視察研修費によって、年に1度、3人の幹事が中心となり、視察先と視察内容を決めて行っています。今回は、町長とオリンピック推進課長にも同行いただき、大変学びの多い研修となりました。



白馬ジャンプ  
競技場

私は松本市の出身で、長野冬季五輪の時の熱気は今までによく覚えています。会場からずいぶん離れた松本市でさえも巻き込み、長野県全域が一体となって、世界中から来たお客様をもてなそう！オール信州でオリンピックを成功させよう！という心意気に溢れていました。

今回視察した白馬村の皆さんは、小さな頃から雪に慣れ親しみ、スキーをしたことのない村人は、ほほいさない、と言ってもいいくらいでしょう。

そして今も「オリンピック会場地」というネームバリューを存分に活かし、スキー・ジャンプという観光資源を誇りに思い、希望を持って地域活性化に取り組んでいます。

現在もジャンプ台は大きな国際大会の開催や、海外からの集客に大きく貢献しています。

特に外国人観光客数の増加は著しく、平成17年の約2万人から、平成28年には10万人を超えるまでになり、白馬の魅力の世界へと更に発信し続けています。

これは当町との、決定的な違いでした。

一宮町のサーフィン人口は、はたして何割でしょうか。サーフィンをしたことのない人の方が、間違いなく多いはずです。

そして、サーファーはマナーが悪い、マナーを守らないから嫌い、という人も少なくありません。

では、どうするのか？

関心がない、興味が無い、だから盛り上がりたなくともしょうがない。

そんな風に諦めてしまうのはとても簡単な事です。

今回の研修で、オリンピックがもたらす恩恵を実際に体感したからこそ、伝えられるメッセージがあると私は思っています。

これからも、オリンピック成功に向けて対話を続けていこうと思います。

藤井幸恵 記

編集後記

小安博之 記

議会だよりは年4回の定例議会ごとに編集発行される。

平成28年6月の議会だよりの編集後記を読み返すと、一宮保育所整備、オリンピック誘致、一宮駅東口が大きな課題とあり、その

うち一宮保育所は一宮どうんこ保育園として、オリンピックは釣ヶ崎海岸がサーフィン競技場としてその誘致に成功し、それぞれ目的を達成した。残る一宮駅東口についても町民アンケートを行うなどして慎重にその計画を進めているが、まだそれに対する多額の財政支出が問題となっている。オリンピック開催を好機と捉え、町の財政支出の圧縮に向けての最大限の努力を期待したい。



白馬村役場

発行：一宮町議会  
編集：議会報編集委員会  
発行日：平成30年2月7日  
〒299-4396  
千葉県長生郡一宮町一宮2457  
電話 0475(42)1421(直)